

## 4.2 経営戦略(7)

ビジネスシステム

## 問1 【解答イ】

- ・CTI (Computer Telephony Integration)
  - ：電話やファクシミリなどを、コンピュータに統合する技術(システム)である。
- ・POS (Point Of Sales; 販売時点情報管理) システム
  - ：商品の販売情報を管理するシステムである。コンピュータなどのレジで商品のバーコードを読み取り、商品売上データの収集と価格計算を行って、レシートを発行する。商品の売上管理だけではなく、販売動向も把握できる。(正解)
- ・トレーサビリティシステム
  - ：RFID (Radio Frequency Identification) などを利用して、製品の生産から流通までを追跡するシステムである。
- ・ベンチングシステム
  - ：銀行などの金融業務用システムで、金融取引のほか、店舗の事務作業などを支援する。

## 問2 【解答エ】

- ・DTP (Desktop Publishing; 机上出版)
  - ：印刷業界での編集(制付け作業)に利用される業種別ビジネスパッケージである。
- ・ETC (Electronic Toll Collection system; 自動料金収受システム)
  - ：有料道路の料金所の専用ゲートを通過したときに、無線通信によって料金収受を行うシステムである。このシステムを利用するには、ETC車載器が必要となる。
- ・GPS (Global Positioning System; 全球測位システム)
  - ：軍事用人工衛星の位置決定システムである。GIS (Geographic Information System; 地理情報システム) と組み合わせて、航行支援やカーナビゲーションに利用されている。
- ・SFA (Sales Force Automation; 営業支援システム)
  - ：営業活動を効果的に行い、生産性を上げるための支援システムである。顧客情報を一元管理するCRM機能、営業プロセスを標準化するSPM (Sales Process Management) 機能、スケジュール管理を行うTM (Time Management) 機能、提案事例/商談情報/商品情報などを蓄積・管理するKM (Knowledge Management) 機能などがある。(正解)

## 問3 【解答イ】

- ・IrDA (Infrared Data Association)
  - ：赤外線を使ってデータ通信を行うリアルタイムシステムである。
- ・RFID (Radio Frequency Identification)
  - ：電波を利用した非接触型自動認識技術のことである。ICタグと呼ばれるアンテナ付きICチップを利用して、情報をやり取りする。RFIDは、製品の生産から流通までを追跡するトレーサビリティシステムや、商品管理、建物の入退管理、及び電車の定期券や電子マネーなどの非接触型ICカードなどに応用されている。(正解)
- ・バーコード
  - ：数字・文字・記号などのデータを、一定のルールに従って太さの違う線に変換し、レジスタなどが読み取りやすいデジタル情報として扱えるようにしたものである。
- ・無線LAN (Wireless Local Area Network)
  - ：電波を利用して接続するLANである。

問4 【解答ア】

スマートグリッドは、「コンピュータ内蔵の電力制御装置をネットワークで結ぶことで、自立的な電力需給制御を可能にした電力ネットワークである。」スマートグリッドには、省エネルギー、低コスト、高信頼性といった効果が期待されている。

イ：スマートフォンに関する説明である。

ウ：グリッドコンピュータインフラに関する説明である。

エ：スマートカード(ICカード)に関する説明である。

問5 【解答ア】

SFA (Sales Force Automation ; 営業支援システム) は、営業活動を効果的に行い、生産性を上げるための支援システムである。そのため、SFAシステムの運用においては「顧客への訪問回数、商談進捗状況、取引状況などの情報」などの営業活動関連情報を管理する。

イ：人事評価システムにおいて管理すべき情報である。

ウ：POS (Point Of Sales ; 販売時点情報管理) システムにおいて管理すべき情報である。

エ：MRP (Material Requirements Planning ; 資材所要量計画) システムの管理情報である。

問6 【解答エ】

トレーサビリティとは、RFID (Radio Frequency Identification) などを利用して、製品の生産から流通までを追跡できることをいう。したがって、「肉や魚に貼ってあるラベルをよりどこに生産から販売までの履歴を確認できる」ことが、トレーサビリティに該当する。

ア：e-ラーニングに該当する事例である。

イ：アウトソーシングに該当する事例である。

ウ：ナレッジマネジメントに該当する事例である。

問7 【解答ウ】

電子証明書の申請から電子入札までの手続きは、次のとおりである。

(1) 事前準備 (電子証明書の入手)

① 電子入札参加企業は、システムに対応している認証局に電子証明書の申請をする。

② 認証局は、電子入札参加企業に電子証明書を発行する。 …(イ)

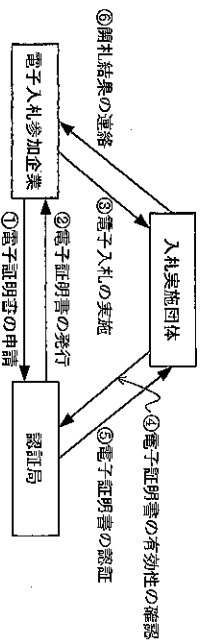
(2) 電子入札の流れ

③ 電子入札参加企業は、電子証明書を使って入札実施団体の電子入札システムに接続し、電子入札を実施する。 …(エ)

④ 入札実施団体は、電子入札参加企業が登録している認証局に「電子証明書の有効性の確認」をする。 …「ウ」

⑤ 認証局は、問合せを受けた電子証明書を確認し、認証する。

⑥ 落札者を決定し、電子入札参加企業に開札結果を連絡する。 …(ア)



## 4.2 経営戦略(8)

エンタープライズシステム

## 問1 【解答エ】

CIM (Computer Integrated Manufacturing ; コンピュータ統合生産システム) は、元々は、製造業などで、「製品の製造から販売までの情報を共有・管理して、生産性を高めるシステム」のことである。現在では経営管理システムも含めて、経営戦略から製品生産までを統合して管理するシステムとして位置付けられている。

ア：VCM (Value Chain Management ; バリューチェーンマネジメント) に関する説明である。

イ：SCM (Supply Chain Management ; 供給連鎖管理) に関する説明である。

ウ：CRM (Customer Relationship Management ; 顧客関係管理) に関する説明である。

## 問2 【解答エ】

CAD (Computer Aided Design ; コンピュータ支援設計) は、「製品の設計にコンピュータを利用し、設計作業の生産性や信頼性の向上を図る」システムである。コンピュータグラフィックスや形状モデリングなどの手法が利用される。

ア：MRP (Material Requirements Planning ; 資材所要量計画) に関する説明である。

イ：生産管理システムに関する説明である。

ウ：PDM (Product Data Management ; 製品情報管理) に関する説明である。

## 問3 【解答ア】

コンカレントエンジニアリング (同時進行技術活動) は、いくつかの製造工程を同時並行して、製品の生産期間の短縮を図る考え方である。この考え方は、システム開発の各工程において、同時にできる作業を並行して進め、「開発期間の短縮」を図る手法としても用いられる。

## 問4 【解答ア】

・ジャストインタイム (JIT : Just In Time) 生産方式

：必要な物を、必要ときに、必要な量だけ生産する方式である。在庫を最小限に抑えられる生産方式である。(正解)

・セル生産方式

：1人又は数人の作業員が、最初から最後まで全工程を担当する生産方式である。

・見込生産方式

：生産計画に基づき、見込み数量で生産する方式である。

・ロット生産方式

：ある数量 (ロット) を、まとめて生産する方式である。

## 問5 【解答イ】

ア：CRM (Customer Relationship Management ; 顧客関係管理) システムは、顧客に関する情報を収集・分析し、顧客と良好な関係を築いて収益の拡大を図る。

イ：MRP (Material Requirements Planning ; 資材所要量計画) システムは、生産に必要な原材料から完成品までの資源の流れを、計画・管理する。最終製品の納期と製造量に基づいて、製造に必要な構成部品の在庫量の最適化を図るのに利用される。(正解)

ウ：POS (Point Of Sales ; 販売時点管理) システムは、商品の販売情報を管理する。

エ：SFA (Sales Force Automation ; 営業支援) システムは、営業活動を効果的に行い、生産性を高めるために支援する。

問6 【解答イ】

BT0 (Build to Order) とは、「製品を完成品ではなく部品の形で保存しておき、顧客の注文を受けから、注文内容に応じた製品を組み立てる」受注生産方式のことである。

ア：OEM (Original Equipment Manufacturer；相手先ブランド製造) に関する説明である。

ウ：JIT (Just In Time；ジャストインタイム) 生産方式に関する説明である。

エ：セル生産方式に関する説明である。

問7 【解答ア】

工程Aは、部品1個の生産に3分必要であるから、最大生産可能数は次のようになる。

$$10\text{時間} \div 3\text{分/個} = 600\text{分} \div 3\text{分/個} \\ = 200\text{個}$$

さらに、工程Aの不良率が5%であるから、工程Aでの1日の良品生産数は次のようになる。

$$200\text{個} \times (1 - 0.05) = 200\text{個} \times 0.95 \\ = 190\text{個}$$

工程Bの1日の最大生産可能数は600分÷2分/個＝300個なので、工程Aから送られる良品190個の作業を全て終わらせることができる。

したがって、この生産ラインの1日の生産能力は、 $190\text{個} \times (1 - 0.1) = [171]$  個である。

4.2 経営戦略(9)

e-ビジネス(電子商取引)

問1 【解答エ】

EC (Electronic Commerce；電子商取引) はe-ビジネスとも呼ばれ、IT (インターネット) を活用したビジネス全般を指している。つまり、「消費者向けや企業間の商取引を、インターネットなどの電子的なネットワークを活用して行うことである。」

ア：SFA (Sales Force Automation；営業支援システム) に関する説明である。

イ：ERP (Enterprise Resource Planning；企業資源計画) に関する説明である。

ウ：リテールサポートを支援するシステムに関する説明である。

問2 【解答イ】

e-ビジネス (電子商取引) は、取引を行う対象者 (消費者：Consumer, 企業：Business, 従業員：Employee, 政府／地方自治体：Government) によって分類される。

ア：オークションサイトは、消費者が出品して消費者が競り落とすので“C to C”である。

イ：通販サイトは、企業が消費者に販売するので“B to C”である。(正解)

ウ：企業間取引サイトは、企業が企業に販売するので“B to B”である。

エ：社内販売サイトは、企業が従業員に販売するので“B to E”である。

問3 【解答イ】

アフィリエイト (成果報酬型広告) は、「個人のホームページなどに企業の広告やWebサイトへのリンクを掲載し、誘導実績に応じた報酬を支払う」広告である。閲覧者がリンク先を訪問したときや、商品を購入したときの利益に応じて、企業が報酬を支払う手法である。

ア：オプトインメール広告に関する説明である。

ウ：SEO (Search Engine Optimization；検索エンジン最適化) に関する説明である。

エ：バナー広告に関する説明である。

## 問4 【解答ウ】

ロングテールとは、多品種の商品を取りそろえることで、一つひとつの販売数が少なくても全体として売上高が大きくなるという考え方である。売り場をほとんど必要としないインターネットショッピングでは、販売に必要なコストが少ないので、販売数が少ない商品の売上を合計すれば、売れ筋商品よりも大きくなることもあり、利益を上げることができる。

## 問5 【解答エ】

・アフィリエイト広告

：個人のホームページなどに企業の広告やWebサイトへのリンクを掲載し、誘導実績に応じた報酬を支払う成果報酬型広告である。

・オーバーレイ広告

：Webページなどのコンテンツに、重ね合わせるように表示される広告である。

・オプトアウトメール広告

：受信者の許諾なしに、電子メールを送信する広告である。

・オプトインメール広告

：広告受信許諾（オプトイン）者を対象に、電子メールを送信する広告である。（正解）

## 問6 【解答エ】

SEO（Search Engine Optimization；検索エンジン最適化）は、検索エンジンを利用してキーワード検索が行われたとき、特定のWebサイトが検索結果の上位に表示されるようにする技術・サービスである。

ア：SSL/TLS（Secure Sockets Layer/Transport Layer Security）に関する説明である。

イ：SNS（Social Networking Service）に関する説明である。

ウ：SIS（Strategic Information System；戦略情報システム）に関する説明である。

## 4.2 経営戦略(10)

民生機器と産業機器

## 問1 【解答ウ】

組み込みソフトウェアは、家電製品や産業機械などに組み込まれて、機器を制御するシステムで利用されるソフトウェアである。したがって、解答群の中では、「デジタルカメラの焦点を自動的に合わせるソフトウェア」が該当する。

## 問2 【解答イ】

組み込みシステムは、家電製品や産業機械などに組み込まれて、機器を制御するシステムである。組み込みシステムは、その性質上、センサから受け取った信号などに対して即時に対応するため、リアルタイム性（「定められた時間内で、一定の処理を完了する性質」）が求められる。

ア：可用性に関する説明である。

ウ：効率性に関する説明である。

エ：信頼性に関する説明である。